



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
発行責任者 佐川愛子
✉ nara9jyonokai@gmail.com
☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>
<http://www.nara9jyonet.com>
33号 2019年9月9日発行



安倍改憲 NO! 3000万署名は1780万筆。
参院選における九条の会が果たした草の根の活動に確信をもち、「九条の会」の声明を受けて、安倍改憲の危険性を訴える宣伝と対話活動、3000万署名を推進しましょう。

九条の会奈良県ネットワーク交流会への2019年度の協力金をお願いします。
送付先: ゆうちょ銀行
記号14530 番号27006271
九条の会奈良県ネットワーク

奈良九条の会ネットワーク拡大運営委員会を行いました。

8月28日、14時から16時過ぎまで、教育会館で「参議院選の成果を踏まえ、九条の会の声明に応じて改憲阻止の運動をどうすすめるのか」の議題で意見交流を行いました。17地域・分野21名の参加がありました。出された意見とアンケートをもとに内容を紹介します。

1、参議院選挙全体の結果についてどう思われますか。特に安倍改憲阻止と今後の見通しについて。

- ・改憲勢力の3分の2以上の議席を阻止し野党統一が全国的に成果を出したように思う。1人区で10人の野党統一候補が勝利した事。1人区13の「自民重点区」で、首相自らが何度も応援にはいったにもかかわらず9選挙区で野党統一候補に敗れたこと。自民は前回比で議席を9減らし、単独過半数を割った。自民党の比例票は前回比で240万票減の1771万票で、絶対得票率は16.6%に落ち込んだ。民意は「早急な改憲論議」を望んでいないことを示した。
- ・安倍首相は自公で過半数議席を得たことにより、「改憲論議」は支持されたとし、改憲の執念を失っていない。安倍首相は、10月の臨時国会で強引に憲法調査会の論議を再開。2020年5月から6月に国会で改憲発議をし、12月国民投票と衆議院解散総選挙を同日に行うという「筋書」と思われる。
- ・衆参とも改憲勢力が3分の2以上を占めていたが、改憲を提案できなかった。改憲より消費税、物価高、年金、介護、健保、教育などが重要だという国民の世論の力、3000万署名の拡がり、国会での野党の闘いで憲法審査会をほとんど開かせなかった。一部野党が飲めるような改憲の提案内容を修正する事が考えられる。1つ1つの本質を暴露し、国民とともに闘う以外にない。
- ・投票率が50%に達しなかったことを残念に思った。投票者も含め、全有権者が選挙の意義、(選挙で政治情勢・社会を変える)を意識し、自主的に選挙運動に参加する状況にすることが肝要である。若者たちの棄権と右翼化で風向きは決して良い方向には行かないだろうと思われる。今度の衆議院選挙が20年中に行われたら、オリンピックの熱狂のなかで簡単にクリアされる恐れがある。野党連合を強化して衆議院選挙に対峙しなければならないと思う。
- ・予想できたことだが、自民党の強さである。(奈良選挙区では野党連合の勝ちを期待したが、やはり・・・)
- ・『安倍9条改憲 NO! 3000万人署名!』継続では、3回観た映画を再び楽しみ、というような感覚があり、さらに多くの成果は得られない。あらためて効果的な改憲阻止活動が必要である。
例えば、①安倍が引き抜きそうな議員に「改憲阻止堅持」を要請するハガキを集中的に送付する。(今回非改選3年後に改選を迎える議員も対象) ②安倍改憲の中身の恐ろしさを訴えるビラを大量に作り、県下各九条の会が全戸配賦する。③同趣旨の講演会を北和、東和、西和、南和各地で実施する。
- ・奈良選挙区では22万近くの票、比例票の140%を獲得、野党共闘の大きな前進、希望が持てる。
- ・立憲枝野代表は衆議院選挙について「候補者擁立について全てが1人区だということを踏まえて、できるだけバッシングしないように5党派で配慮、考慮しながらいつあってもいいように備えていきたい」と述べている。共産・志位委員長は「5野党・会派の枠組みで、連合政権についても話し合いをしていきたい」と述べている。

2、九条の会として初めて野党統一候補に市民連合の一員としてとりくみましたが、どのような取組が行われましたか。

- ・奈良市民連合の集会、学習会等に参加。世話人会で「安倍9条改憲が最大の焦点となる」と意思統一。

- ・公民館で行う恒例行事（映画を見る会）の案内を配布するチラシに軍事費に莫大な税金が使われていることを載せ、投票に行こう！という呼びかけを載せた。
- ・野党候補者を電話かけでお願いした。結構、判ってもらえる。市民連合中和の会合に1～2回の参加に終わり具体的な取組はなかった。公営掲示板へのポスター掲示、個人演説会、街頭演説会への参加。
- ・統一候補のハガキを知人に郵送して支援を頼み、選挙期間前にチラシや会で作った独自のチラシを配布、一般の有権者に投票をお願いした。町民の会と一緒に街宣。
- ・19日行動提起を受けて王寺駅前で17名参加の街宣。若者にリーフを撒く。
- ・「9条の会・生駒」が毎月発行しているニュース（封筒に入れて宛名記名で配布）に、「1人区で勝利することの意義」「改憲勢力3分の2問題」「統一候補西田の名前も掲載して宣伝」などを読者に伝えた。生駒駅での宣伝、上と同様の内容でマイク宣伝。「選挙に行って政治を変えよう」ちらしも多数撒く。
- ・統一候補チラシを3000枚地域に戸別配布した。統一候補推薦はがきを九条の会世話人が周囲の人に依頼し200枚を選挙事務所に届けた。推薦葉書を知人、特に若い人を対象に送る。
- ・中和地域での「市民連合」的な動きである「懇談会」「準備会」の一員として、応分の役割・取組を行う。ニュース「投票に行きましょう」の啓もうを読者と9・19宣伝として一般市民に広く呼びかけた。
- ・「市民連合中和」準備会事務所の電話で、ニュース読者に西田候補への支持を訴える。
- ・葛城市民連合をつくる。今まで選挙活動に参加したことのない人や一人で300人のツイッターを持っている人達参加。スタンディングやチラシ配布、七夕集会の企画を行う。
- ・九条の会奈良市交流会として①チラシ配布を2回行い、安倍改憲の中味と参議院選挙への呼びかけを行う。1回目は奈良市に4万枚、2回目は奈良県に3万5千枚配布。②市民連合が呼びかける集会、演説会、パレードに参加の組織を行い、統一選挙の機運を盛り上げる。葉書への取組。④市民連合北和センターが呼びかける「政治を変えよう」街宣、駅頭街宣14回、大学前街宣5回、19日行動に参加。
- ・奈良九条の会ネットワークのホームページで、集会、演説会や街頭宣伝の予定、各地域の取組を広げる。

3. 今後、野党統一候補勝利のためにご意見があればお願いします。

- ・奈良市民連合の中で九条ネットは積極的な役割を果たしていた。
- ・30日の決起集会、ブルーパレードは良かった。選挙戦に弾みがついた。
- ・野党統一候補が決まってから選挙活動をするまでの期間が短すぎた。これからはもう少し早く決めてほしい。みんなへの周知徹底作戦の徹底、計画を早く知らせるべき。・政策や方針が私たちにも伝わるように、伝達手段を確立する事や「統一選挙ニュース」などを発行すればいいのでは。
- ・野党共闘の中心になる「市民連合」の強化発展（全県・地域共に）が必要。次回衆議院選挙では、市民運動も含めた統一候補「合同選挙対策会議」の共同した選挙にしてほしい。市民連合としての総括が必要。
- ・政策の具体性がなく、訴える力が弱かった。
- ・知名度の高い学者やタレントなどの候補や山本太郎的な分かりやすいメッセージを出す工夫も大事！
- ・今回の1つの問題点は、連合の姿勢と、市民団体や野党との協力問題にある。中央の13項目の合意、奈良県での6項目の合意、ポスターやちらしの作り方など、問題点を整理し、今後協議していくこと。
- ・立民、国民、共産、社民が本当に協力し合う体制が必要。「統一候補」と言いながら、各党の足並みは揃っていなかった。隙間風の穴を自民や維新に突かれたきらいがある。真の野党統一をこそ切望する。
- ・市民連合と5野党・会派が合意した「共通政策」の1項目に掲げられた憲法9条「改正」反対の政策が候補者自身の政策に見られなかったのは大変残念でした。
- ・3000万署名への取組や大小の集会など幅ひろい市民運動が旺盛に展開されること。「野党統一候補」の擁立とその勝利のために参院選を戦ったことは必要かつ有意義でした。憲法違反の「戦争法廃止」のためには立憲野党による「連合政府」の樹立の視野で国政選挙をとらえる必要がある。長い闘いにはなりますが「憲法9条を守る」には、こういう道程を経ずしてあるいは避けて通ることはできない。

9月19日戦争法廃止を求める集会（仮称）が下記の日程で行われます。各地域・分野からの参加をお願いします。

日時：9月19日（木） 17時30分～18時 3000万署名活動

18時～18時45分 リレートーク集会

場所：近鉄奈良駅前 署名用紙やプラカードをお持ち下さい。